

フィフティだより



発行 丹波篠山市男女共同参画センター「フィフティ」
☎079-552-1511 / 令和8年2月20日

ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定制度

兵庫県と神戸市が共同で令和4年11月に創設した制度で、女性の活躍や多様な働き方などに積極的に取り組む企業を認定しています。昨年3月時点で、ミモザ企業に198社、フレッシュミモザ企業に85社が認定されています。

※令和6年度から、さらに挑戦しやすい認定区分として「フレッシュミモザ企業」の認定区分が新設されました。



丹波篠山市のフレッシュミモザ企業 杉本歯科医院(令和7年3月10日認定)へのインタビュー

なぜ、フレッシュミモザ企業認定を取得しようと思ったのか

歯科医療に携わるようになって、「歯の治療は、痛い怖い、できるなら行きたくない」というイメージから、「楽しく行ける歯医者さん」にできないか、また働くスタッフも、患者さんに喜ばれ働きがいを感じる職場にするには、どうしたらいいかを考えてきたことが根底にあります。

近年の人手不足による採用難は、歯科業界も例外ではありません。このような中、スタッフ募集の際に、フレッシュミモザ企業認定は、女性が働きやすい職場であることをPRできると考えました。

また、スタッフ一人ひとりが自分の持ち味を生かして働き、かつ、働きがいを感じるためには、仕事と育児、介護との両立支援など、一人ひとりの生活を考慮した働きやすい環境づくりが重要と考え、フレッシュミモザの認定にチャレンジすることにしました。

認定をめざし、どのような取り組みをされたか

フレッシュミモザ認定には対象となる20項目のうち8項目以上達成していることが条件ですが、当医院は、院長を除く全スタッフが



マネージャー 三宅雅子さん

兵庫県「わたし」からアクション宣言「実現のために、どのようなことに取り組まれているか」

当院では、「女性スタッフ働きやすい環境づくりを目指すこと」を宣言しています。育児・介護との両立支援や柔軟な勤務時間設定、女性管理職へのステップアップ支援、社外のキャリア支援専門家による相談窓口の設置、業務の棚卸し、業務に関する研修の実施などを通して、働きやすい職場づくりに努めています。また定期的にスタッフ面談を実施し、

今後の女性活躍の推進、働き方改革のために大切にしたいこと

スタッフ一人ひとりの家庭環境はさまざまであり、それを考慮した上で、働きやすい職場環境づくりは重要であると考えています。スタッフは短時間勤務の者や再就職した者など雇用形態や年齢もさまざまですが、1チームとして協力し、学び合いながら働ける職場でありたいと思います。令和3年に兵庫県の経営革新計画の対象として承認を受けたデンタルフェイシャルトリートメント(歯科で行うフェイシャルトリートメント)の取り組みは、女性スタッフが中心となって考え、実践しているもので、こうした新たな取り組みにより、女性スタッフは働きがい得られていると思います。

▲フレッシュミモザ企業認定証



第2号パートナーシップ宣誓

丹波篠山市では、令和5年4月1日からパートナーシップ宣誓制度を開始しています。

この制度は、お互いを人生のパートナーとして、日常生活において相互に協力し合うことを約束した一方または双方が性的マイノリティである二人に対して、市がパートナーシップ宣誓書受領証の交付を行うものです。

令和7年12月25日に本市で2組目となるパートナーシップの宣誓があり、1月16日、宣誓されたお二人に受領証を交付しました。

これからも、性的マイノリティの方々への理解を広め、多様性を認め合い、お互いの人権を尊重しあう丹波篠山市をめざしていきます。



困ったときの相談窓口

相談の内容	相談窓口	連絡先	対応時間
・男女共同参画に関する相談 ・女性相談(生活や仕事、DV被害、子育てや介護、夫婦・家族・職場の人間関係など)	男女共同参画センター	☎552-1511	火～日曜日 (祝日、年末年始を除く) 9:00～17:00
・フィフティ カウンセリングルーム【要予約】			3月11日(水)・26日(木) (各日3枠まで)
・人権相談 ・女性のための悩み相談 ・性的マイノリティ特設電話相談【要予約】	人権推進課	☎552-6926	
・総合生活相談 (人権や生活上のさまざまな相談を受ける身近な相談窓口。必要に応じて関係機関へつなぎます)	畑ふれあい館	☎552-4401	月～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 9:00～17:00
	日置ふれあい館	☎556-2850	
	西紀ふれあい館	☎593-0093	
	味間ふれあい館	☎594-1003	
	古市ふれあい館	☎594-1001	
・ふくし総合相談窓口 (どこに相談したらいいのか分からない相談や、福祉の相談を受ける窓口)	長寿福祉課	☎552-5346	月～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 8:30～17:15
	兵庫県女性家庭センター (配偶者暴力相談支援センター)	☎078-732-7700	年中無休 9:00～21:00 ※緊急時は24時間対応。
	兵庫県警察本部 (ストーカー・DV相談)	☎078-371-7830 (危険なときは110番)	年中無休 24時間

休館日のお知らせ

3月1日(日)は、ABCマラソン開催により丹波篠山市民センターが使用されるため、男女共同参画センター「フィフティ」は休館します。



女性従業員から一言

●Mさん

私は、上の子が2歳のときに入社しました。当時は仕事と子育てで毎日が忙しく、精いっぱいでしたが、職場のサポートや働き方に関する院長面談があったことが励みとなり、仕事を続けながら子育てを終えることができました。働くことで得られる対価と同時に、社会に貢献していることを実感できることが、女性活躍の推進には大切であると思います。

●Iさん

私は、3人の子どもを育てながらダブルワークで働いています。杉本歯科医院には午後2時から5時まで勤務しています。歯科医院で働くのは初めてですが、何でも聞きやすい雰囲気があり、先輩スタッフの皆さんから丁寧に仕事を教えていただけるので、安心して働くことが出来ます。また、ステップアップ研修を受講して、技術や資格を習得し、患者さんに施術することが自分のやりがいにつながっています。



スタッフ研修の様子



スタッフの皆さん



スタッフの価値観を
見える化したビジョンツリー

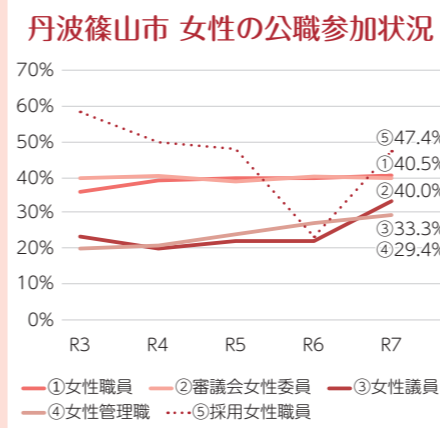
女性の参画

第3次丹波篠山市男女共同参画プラン進捗状況

丹波篠山市では、令和4年3月に第3次丹波篠山市男女共同参画プランを策定し、男女共同参画施策を推進しています。令和6年度における取り組みの進捗状況は、プランに掲げる77の具体的施策のうち、令和13年度の成果目標を達成している事業は54事業(70.1%)となり、未達成の事業では、前年度より改善したものは9事業(11.7%)、同じか低下したものは、14事業(18.2%)でした。引き続き、成果指標の達成に向けた、さらなる推進を図ります。

丹波篠山市における女性の公職参加状況

昨年4月1日時点の市の女性公職参加状況は次のとおりです。なお、審議会における女性委員の登用率は、県内で令和3年度から6年度まで連続で第1位でした。



毎年3月8日は国際女性デー(ミモザの日)です

国際女性デーは、女性の社会参加と権利向上を呼びかける日で、国際婦人年である1975年3月8日に国連で提唱されました。イタリアでは「ミモザの日」とも呼ばれ、男性が身近な女性に敬意と感謝を込めてミモザの花を贈る習慣があったことから、ミモザの花は国際女性デーのシンボルとして親しまれています。

国際女性デーには、国内外でさまざまな取り組みが行われており、男女共同参画センター「フィフティ」では、丹波篠山市民センター内のフリースペースで特設コーナーを設置します。

この機会に、私たちの国、そして女性たちの置かれている地位を見つめ直し、ジェンダー平等に向けて、自分たちに何ができるか考えてみませんか。



男女共同参画センター 特設コーナー

第6回 中川智子アドバイザーのエッセイ

エッセイ



今年度最後のミニ講座(フイティ主催)が3月5日(木)に予定されている。テーマは「故郷(ふるさと)の話しよう」。このテーマにしたのは、私自身、確たる故郷を持たないから。確たるという表現はあたらなないかもしれないが、いつも折にふれて聞かれる「ご出身はどちらですか?」が苦手だ。この質問にはいつも「マゴマゴ」してしまつて、「生まれたのは和歌山で、若い頃の前半は大阪、後半は横浜で、勤めは東京、結婚してからは兵庫で、途中夫の転勤で熊本で暮らして……」と続く。なので結局出身地は和歌山県、となる。私の名前「智子」は、母の実家で生まれて、その近くにある日本一の名瀑「那智の滝」から名付けられた。それはよかつたけれど、和歌山は出生地であるが、故郷ではない。

「あなたたち、だめよ!」になって、言葉には多少苦労したけれど、関東の文化にもすぐになじんだ。思い出がギョツと詰まった貝塚と横浜、しかし父と母が「いのすみか」として選んだのは大阪の高槻。やはり西の方で暮らしたかったようだ。こんなわけで、私は故郷のある人がうらやましい。人々の故郷の話聞きたい。思い出を語り合い、改めて私たちにとっての「故郷」とは何かを一緒に考えたいと思う。しかし、思い返すといろいろな土地に暮らしたことで、たくさんの人と出会い、その場所が持つ豊かな文化に触れることができた。つくづく日本は広いと思う。でも、もし英語が話せたら外国にも住んでみたかった。結局人生で一番長く暮らすことになったのは宝塚であるが、あともう一カ所くらい新しい土地に出会いたいと願っている。故郷を持たないことは寂しくはあるけれど自由だ。

要予約 先着順 ふるさと 第6回連続ミニ講座 故郷のはなしをしよう

あなたにとっての「故郷」を聞かせてください。

- 日時 3月5日(木)13:30~15:30
- 場所 丹波篠山市民センター
- 定員 30人
- 講師 中川智子さん
- ★一時保育あり(2月26日(木)までに要予約)

要予約 先着順 ちょこっと相談

子育てのことや家族のことなど、少し話したら気持ちが楽になりますよ。中川智子アドバイザーが秘密厳守で話を聞きます。

- 日時 3月13日(金) ①13:00~13:50 ②14:30~15:20
- 場所 丹波篠山市民センター
- 定員 各回1人(グループは3人まで)

3月は自殺対策強化月間

あなたの声を聞かせてください

3月は例年自殺者が多い傾向にあります。その理由は、進学や就職、転勤など、生活環境が大きく変化し、ストレスを受けやすい時期であることが要因と言われています。

このため、毎年3月を「自殺対策強化月間」と定め、国、県、市町村などが連携して、「誰も自殺に追い込まれることがない社会」の実現に向け、相談事業や啓発活動を実施しています。

もしも、悩みや不安を抱えているときは、対面だけでなく、電話やSNSなどの相談窓口がありますので、ひとりで悩まずご相談ください。

よりよいホットライン(無料)

☎0120-279-338 24時間対応

話を聞いてもらった。心が少し落ち着いた。知らせてほしい、心のSOS。



そのほかの相談先はこちら

